

令和7年度 学校だより

令和7年10月31日



にしはら

11月号

渋谷区立西原小学校

デフリンピック東京大会開催まで後2週間です！

校長 博多 正勝

9月の巻頭言を書いてから2か月が経ちました。今までに経験したことのない長い残暑が終わったと思ったら、あっという間に朝晩が寒くなりました。秋を感じる間もなく、冬を迎える気配がします。先日の全校朝会では、二十四節気の一つ「霜降（そうこう）」の時期になりましたねと、子供たちに伝えました。漢字のごとく、葉に付いた朝露が、霜の変わり始める季節になってきます。しかし、お日様が出ると過ごしやすい時期です。この時期はイベントが目白押しです。

10月は西原地区体育会主催の「大運動会」や西原地区委員会主催の「ふるさとまつり」、渋谷区の防災課が主催した「渋谷防災キャラバン」等、催し物が西原小学校でたくさん開催されました。どの会も大盛況で、大運動会は昨年度より参加者が多く、競技等に参加した人に配布するプレゼントが足りなくなるほどでした。また、防災キャラバンでは、子供たちが体験できる「AED・心臓マッサージ体験」や「けむり体験（人体に害がないドライスマーク使用）」等、実際に災害にあった際に役に立つ体験活動を、数多く行うことができました。このような様々な体験活動は、学校だけで行なうことは難しいです。行政や地域、企業等、様々な方々の協力によるものです。先ほどお伝えした3つのイベントに携わりましたが、西原小学校は数多くの方々に支えられていることを、改めて体感することができました。また、先の2つの運動会とふるさとまつりは日曜日開催のため、勤務日ではありませんでしたが、本校の教員が数多く参加しました。当日、教員たちへの黄色い声援がたくさん飛び、関係が深まった会になったようです。

11月29日（土）にはPTA主催の「PTAフェスタ」が開催されます。11月は学校公開や移杖式等、多くの学校行事もあり、忙しい日々ではあります、多くの参加をお願いいたします。

さて、今月11月15日（土）から26日（水）までの期間に、「デフリンピック東京大会」が行われます。約70から80か国から約3000名が参加予定です。東京都内の様々な競技場で熱い競技が繰り広げられます。デフリンピックの啓発ポスターに載っている「山田 真紀（陸上）」選手や「亀澤 理穂（卓球）」選手も、参加予定です。西原小学校は、4年生が男子バレーボールの試合を、駒沢競技場での体育館にて参加予定です。ルールは、通常のバレーボール大会とそれほど変わりません。しかし、聴力に障害がある方が選手として参加されますので、審判は笛と一緒に旗を上げ下げして、結果を分かりやすくします。また、選手同士ではアイコンタクトを多用したり、手話通訳者を置いたりして、様々な工夫をしてコミュニケーションを図っています。子供たちは、健聴者が行うバレーボールの試合と何が違うのかを、しっかりと見学させたいです。

また、子供たちには応援の仕方等も学ばせてから、参加させていこうと考えています。聴覚に障害がある方は、監督からの指示だけではなく、観客からの応援も聞き取りにくいです。聴覚障害をもつ人が、たくさんの応援を感じることができるようになるために、「サインエール」という、新しい応援の形があります。この「サインエール」は、ろう者（生まれつきや小児の時に聴力を失った方）の方々とデファスリートの方々と一緒にになって創り上げました。主に、体の動きと手話が基になっています。詳細を以下に添付します。お読みください。

[デファスリートに届ける新しい応援スタイル『サインエール』 | TOKYO FORWARD 2025](#)

4年生の子供たちは、11月20日（木）に参加する大会前に、サインエールと一緒に覚えて参加しようと思っています。皆さんもデフリンピックのライブ観戦やテレビ観戦等の際は、このサインエールで応援をしましょう。4年前の前回のブラジルデフリンピックでは、日本選手は金メダルを12個、計30個を得ることができました。多くのご活躍を願っています。